

令和8年度

入田中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ICTで多様な考えを共有し、対話を通して学びを深める「協働的な学び」の推進
- 朝の読書や家庭との連携を通じ、しなやかに学び「続ける」自立した学習習慣の定着
- 少人数学習とICTの個別最適化により、志を「かなえる」基礎・基本の徹底と学力保障

【各校の取組状況の把握について】

--

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○落ち着いて授業に臨み、意欲的に学習に取り組むことができる。基礎的・基本的な内容を理解している生徒が多い。</p> <p>●長い文章を正確に読み取ったり、既習事項を状況に応じて適切に使分けすることに課題がある。</p>	<p>・基礎的・基本的な内容の習得に意欲的に取り組み、向上心を持って学習に取り組むことができる。</p> <p>・読書活動により語彙数が増える。</p> <p>・習得した知識を、既習の知識と関連付けることができる。</p>	<p>・月1回の図書委員会の活動(ブックトーク等)を通じ、読書活動の充実を図る。</p> <p>・テスト前に補充学習(チャレンジタイム)を行うことで、基礎的内容の定着を図る。</p> <p>・相互参観授業を通して、指導力の向上を図る。</p> <p>・小テストなど通して反復学習を行い、分かる喜びを実感させる。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○話し合いなどの活動では友達の意見を聞き、素直に自分にかそうとすることができる。また、自分の意見や考えも発言することができる。</p> <p>●自分の考えがうまく伝わるよう文章や話の組み立てなどを工夫して表現することに課題がある。また、知識を他の学習と関連付けたり活用したりすることに課題がある。</p>	<p>・目的に応じて、情報を整理しながらまとめ、論理的に伝えることができる。</p> <p>・各教科で学習したことを、実生活でも役立てようとする姿を見ることができる。</p> <p>・人の意見を取り入れ自分の考えを深めることができる。</p>	<p>・各教科において、アウトプットの場を多く設定し、条件にあった表現力を身につけさせる。</p> <p>・学習形態(グループ、ペア等)を工夫し、論理的に考えるような、話し合いや発表の場を設ける。</p> <p>・授業の中に話し合いや教え合いの場面を設け、必要に応じてタブレットを使いながら、自分の考えを他者に伝えたり、他者の意見を聞いたりする機会をつくる。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○真面目に授業に取り組み、疑問に思ったことに対し、積極的に発言や質問をすることができる。課題等の提出率も高い。</p> <p>●家庭学習の習慣や、学習内容の定着に課題がある生徒がいる。</p>	<p>・生徒一人一人が課題や進路に向けて、自分の学習方法を確立し、計画的に自主的に家庭学習に取り組む。「家庭学習の習慣が身につけている」と感じている生徒の割合が100%を目指す。</p> <p>・学ぶ喜び、分かる喜びを感じ、「学校の授業がわかる」と感じている生徒の割合が80%以上を目指す。</p>	<p>・授業のめあてを提示する。</p> <p>・生徒が興味関心をもって学習に取り組むことができるよう発問や資料の提示など教材研究し、ICTを有効活用する。</p> <p>・学習委員会の活動により、家庭学習の充実を図る。</p> <p>・補充学習(チャレンジタイム)を行い、学習を支援する。</p> <p>・家庭学習の手引きを活用しながら、保護者との連携を図り、計画的な家庭学習につなげる。</p>			